

神森男女が頂点

中学新人ハンド

ハンドボールの第16回浦学校新人大会最終日は13行われ、女子決勝は神森が添市長杯争奪・第47回県中一日、ANAアリーナ浦添で延長戦の末に20-19で美東



を破り、3年ぶり12度目の頂点に立った。男子決勝は神森が仲西を32-23で下し3年連続18度目の優勝を果たした。

神森の男女は3月25-29日、富山県氷見市で行われる第15回春の全国中学生選手権の出場権を得た。

【男子】

浦	西	25	141	13	7	20	昭葉付
仲	西	29	23	浦	西		

▽準決勝
神 森 35 13 昭葉付
仲 西 29 23 浦 西

▽第3シード決定戦
浦 西 25 141 13 7 20 昭葉付

【女子】

神	森	32	141	8	23	仲	西
美	東	25	18	浦	添	西	

▽決勝
神 森 32 141 8 23 仲 西

▽準決勝
美 東 25 18 浦 添 西

▽第3シード決定戦
浦 西 23 16 7 10 11 21 浦 添

▽決勝
神 森 20 延 8 9 11 19 美 東

攻守で粘り延長制す

女子

女子決勝、延長戦までもつれた熱戦を制したのは神森だった。粘る美東を20-19で振り切り、多和田真尚監督は「勝敗を分けたのは絶対勝つという意地としか言えない」と歓喜の余韻が冷めやらぬ中、語つ

た。3連続得点で序盤からペースを握った。以降は互いの堅守が光り、前半は9-6で折り返し。しかし「逃げ切りたい」という弱気な甘さが出てしまった。多和田監督と美東の猛追を食らい、17-17と延長戦に持ち込まれた。第1延長はGK仲松歩花のビッグセーブも飛び出し、1点ずつ取り合い第2延長へ。こゝでも仲松が好守を見せると、得点源の伊



男子決勝 神森-仲西 前半、シュートを決める神森の狩俣宗聖

男子

堅守から速攻 守備陣を翻弄

決定力の高さを誇る男子神森が終始主導権を握り、32-23で仲西を破って全国切符をつかんだ。序盤、堅い守備から素早い展開で相手守備陣を翻弄(ほんろう)し点を重ねた。前日まではやや雑なプレーが目立ち、試合前に友利彬彦監督は「これは駄目だぞ」と奮起を促したという。前半は18-8で折り返して後半も着実に加点。友利監督は「守備で勝負してそこから押し切ることができた。ミドルもうまく入ってくれた」とすっかり修正した選手たちを褒めた。洲鎌史成主将は「一人一



アベック優勝を飾った神森

人が役割をしっかりと果たし、流れをつかむことができた。県での優勝は通過点で、日本に向けてスターラインに立てた」とうなずいた。司令塔の吉野泰基は「ボールをゆくり回して、一対一を強く仕掛けることができたのが良かった」と勝利の味をかみしめた。